

# JAGUAR tcs racing

2025 年 1 月 14 日

## 2024/2025 ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権第 2 戦 メキシコシティ E-Prix で JAGUAR TCS RACING はポイント獲得ならず



- メキシコシティ E-Prix において、JAGUAR TCS RACING は本来のパフォーマンスを発揮できずノーポイント
- ニック・キャンディは、グリッド後方から 10 も順位をあげ、12 位でフィニッシュ
- ミッチ・エバンスは、レース序盤はポイント圏内を走行しており終盤に順位をあげるチャンスはあったが、ニコ・ミュラー (ANDRETTI FORMULA E) と接触しリタイア
- ミッチ・エバンスはドライバーズ・ランキングで 2 位、ニック・キャンディは 20 位
- JAGUAR TCS RACING は、チーム・ランキング、マニュファクチャラーズ・ランキングでともに 3 位
- 第 3 戦と第 4 戦は、2 月 14 日と 15 日 (現地時間) に、サウジアラビアのジッダで初開催

2025 年 1 月 12 日、メキシコ・メキシコシティ発: ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 2024/2025 シーズン  
第 2 戦、メキシコシティ E-Prix において、JAGUAR TCS RACING のミッチ・エバンスはレース中のアクシデント

# JAGUAR tcs racing

によりリタイアを余儀なくされ、またニック・キャンディはクオリファイ・セッションのラップタイムが抹消され、さらに決勝ではセーフティカー導入で順位を落とし最終的に 12 位でフィニッシュし、ポイント圏外でレースを終えました。

クオリファイ・セッションのグループステージにおいて 2 人のドライバーは印象的なラップタイムを記録しました。しかし、ミッチ・エバンスは、デュエル準々決勝でオリバー・ローランド (NISSAN FORMULA E TEAM) に敗れました。ニック・キャンディは好タイムを記録しグループ 3 位となりましたが、残念ながらテクニカル違反によりラップタイムが抹消されてしまいます。

スタンドを埋め尽くしたフォーミュラ E ファンの前で 5 番グリッドに並んだミッチ・エバンスは、レース終盤での追い上げに備えて順調なレース運びをみせました。17 周目には、初めてアタックモードを 4 分間使用し、6 つポジションを上げ 4 位に浮上します。今シーズンよりアタックモードは 50kw の追加パワーだけでなく全輪駆動にもなるため、これらを有効活用することに成功しました。

大半のマシンがアタックモードを使用し終えた後、ミッチ・エバンスは最後のブーストを残して 8 番手につけていました。そしてレース終盤、最後のアタックモードを発動させようとしたとき、目の前でニコ・ミュラー (ANDRETTI FORMULA E) が出力低下に見舞われ大きくスローダウンします。ミッチ・エバンスは懸命に対応しましたが、衝突を避けることはできず、このアクシデントによりポジションアップする絶好の機会を目前にししながら、リタイアを喫することになりました。

ニック・キャンディは最後尾の 22 位からスタートしましたが、チームとともにこの困難を乗り越えようと作戦を練っていました。27 周目に最初の 6 分間のアタックモードを発動させましたが、不運なことにセーフティカーが導入となり、ポジションアップのチャンスはすぐに失われてしまいました。ですが、34 周目に残り 2 分のアタックモードを使用し 13 位に浮上し最終的に 12 位でレースを終えました。

## JAGUAR TCS RACING チーム・プリンシパルを務めるジェームズ・パークレーのコメント:

「今日は我々にとってかなり珍しい一日でした。過去 23 戦においてポイントのないレースは経験のなかったことです。ミッチは好位置につけておりアタックモードがまだ使用可能でエネルギーも少し残っていたのですが、前のクルマがスローダウンしたことで接触を避けることができませんでした。ニックは 22 番グリッドからのスタートでしたが、この位置からでは厳しいレースになることはわかっていました。いい走りでも 12 位まで順位を上げましたが、残念ながらポイント獲得には至りませんでした。この結果をモチベーションに変え、次のジッタではしっかりとポイントを獲得していきたいと思います。」

## JAGUAR TCS RACING ドライバー、ミッチ・エバンス (#9) のコメント:

「5 番グリッドからのスタートだったので、もっといい結果を期待していたのですが、最後のアクシデントは避けられず残念な結果になってしまいました。ニコのすぐ後ろを走っていたのですが、彼はトラブルを抱えて

# JAGUAR tcs racing

いて突然スローダウンしてしまい、とっさに反応しようとしたのですが、彼の左リアに引っかかってしまい何もできませんでした。次のジッタに向けてやるべきことがあり、準備を進めています。」

## JAGUAR TCS RACING ドライバー、ニック・キャンディ(#37)のコメント:

「本当にフラストレーションが溜まる 1 日でした。チームとしては、今週末は素晴らしい進歩を遂げました。FP1 は難しいスタートでしたが、クオリファイ・セッションに向けて本当に強いマシンに仕上げてくださいました。プッシュラップを 1 周こなしたただでデュエルに進出できたのは素晴らしいことでしたが、ラップタイムが取り消しになったのは本当に悔やまれます。メキシコシティはオーバーテイクが難しいコースで、後方からのスタートでは順位を上げることが難しかったです。我々はこれからジッタに向けてパフォーマンスの向上に取り組んでいきます。」

ミッチ・エバンスはドライバーズ・ランキングで 2 位、チームメイトのニック・キャンディは 20 位に、JAGUAR TCS RACING はチーム・ランキング、マニュファクチャラーズ・ランキングで 3 位につけています。

ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権 2024/2025 シーズンの第 3 戦、第 4 戦は、2025 年 2 月 14 日、15 日にサウジアラビアのジッタにてダブルヘッダー開催されます。

※本プレスリリースはジャガー・ランドローバーが 2025 年 1 月 12 日(現地時間)に発表したプレスリリースの翻訳です。

以上

## エディタース・ノート

### JAGUAR TCS RACING について

JAGUAR は 2016 年 10 月にモータースポーツ界に復帰し、電気自動車によるレーシング・シリーズ、ABB FIA フォーミュラ E 選手権に参戦した、最初のプレミアム自動車メーカーとなりました。

2024 年、JAGUAR TCS RACING が ABB FIA フォーミュラ E のチーム・チャンピオンシップを獲得し、JAGUAR にとって 1991 年以來となる世界選手権制覇を達成しました。また、JAGUAR は GEN3 時代のフォーミュラ E レーシングマシンである「I-TYPE 6」で、新設されたマニュファクチャラーズ・タイトルも獲得しました。

JAGUAR TCS RACING のドライバーであるミッチ・エバンスとニック・キャンディは、2023/2024 シーズンのドライバーズ・ランキングでそれぞれ 2 位と 3 位となり、フォーミュラ E が GEN3 Evo 時代へと移行するシーズン 11 にも、チームの一員として再び参戦します。シーズン 11 と 12 にまたがる GEN3 Evo では、新しいパワートレインや、クオリファイ・セッションおよびレースの一部のフェーズで全輪駆動を採用するなど、世界唯一のネットカーボンゼロの電動レーシングマシンは、さらなる技術的進歩が見込まれています。

また、2026 年にスタートするシーズン 13-16 の GEN4 時代への継続参戦することを決定し、ABB FIA フォーミュラ E 世界選手権への長期的なコミットメントを表明しました。

# JAGUAR tcs racing

フォーミュラ E は、オール電動のコンセプトだけでなく、開催地の選択においてもモータースポーツ界ではユニークな存在です。2024/2025 シーズンの世界選手権では、サンパウロ、ディルレーヤ、東京、モナコなど、世界の主要都市の中心部に作られる仮設のストリートサーキットで多くのイベントが開催される予定です。また、新たな開催地としてマイアミが加わり、シーズン最終戦は再びロンドンでダブルヘッダーのレースウィークエンドとして開催される予定です。

JAGUAR TCS RACING はフォーミュラ E の公式マニュファクチャラー・チームとして、モーター・ジェネレーター・ユニット、トランスミッション、インバーター、リア・サスペンションを含むパワートレインを独自設計しています。JAGUAR は、フォーミュラ E の長期的な技術パートナーであるフォーテスキューZero を通じて ENVISION RACING に GEN3 Evo のパワートレインを供給します。

コストを抑えるため、カーボン・ファイバー・シャシーとバッテリーは、全 11 チーム共通となっています。これにより、効率的かつ軽量なパワートレインの開発に焦点を絞ることができ、未来のジャガー・ランドローバー (JLR) のフルバッテリー電気自動車 (BEV) のパフォーマンスと航続距離の向上につながります。

フォーミュラ E への参戦は、JLR が掲げる「REIMAGINE」戦略の実現に向けた最重要事項であることに変わりはありません。フォーミュラ E は電気自動車による世界選手権の最高峰であり、チームは高性能が求められる環境で新しい EV テクノロジーをテストして開発することができます。チームのミッション「Race to Innovate (イノベーションのためのレーシング)」のテストベッドであり続け、そこから得られる「Race to Road (レースで得た知識や経験を市販車へ)」、そして「Road to Race (市販車からレースへ)」と相互の学びによって、JAGUAR の EV の未来を切り開いていくのに寄与します。

JAGUAR TCS RACING は、「Race to Inspire」というミッションのもと、レースプログラムを通じて地球や地域社会にポジティブな影響を与えることで、未来の世代にインスピレーションを与えることを使命としています。世界初のネットゼロカーボンレースカーでの競争から、次世代のエンジニアやモータースポーツの専門家のサポートやトレーニングまで、さまざまな活動を行っています。

詳細については、<https://media.jaguarracing.com/>をご覧ください。

## Tata Consultancy Services (TCS) について

TCS は、56 年以上にわたって数多くの世界最大規模のビジネスをデジタルに変革してきた、IT サービス、コンサルティング、ビジネスソリューションを提供する企業です。JLR の長年にわたる戦略的テクニカルパートナーである TCS は、新しいテクノロジーを活用して、レースチームの電動化を促進し、レースで勝利して、より持続可能な未来を構築する活動をサポートしています。TCS はより良い未来の構築に取り組み、サーキットで得たノウハウを活用して、モビリティ・エコシステムを変革しています。タタ・グループの一員である TCS は、世界中に 61 万 2,000 人を超えるコンサルタントを擁しています。

## ◆お問い合わせ先◆

ジャガーコール (フリーダイヤル) 0120-050-689 (9:00-18:00、土日祝日を除く)